

な が ら No.11	自ら学び よく遊び 生き生きと活動する力のある学校	
長等小学校 学校だより	平成31.2.14	〒520-0033大津市大門通5-1・TEL522-6669・FAX522-1543
インターネット・アドレスURL: www.otsu.ed.jp/nagara/		E-mail: nagara@otsu.ed.jp

<出来た喜び>

立春を過ぎても寒風にコートの襟を立てる日が続きます。それでも、暦通りに校門の梅の花が開き、その一角には一足早い春を感じます。1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言うように、年が明けてからは、瞬く間に日が過ぎました。平成30年度のゴールは直ぐそこまで来ています。

今、学校では一人一人の知識や技能、思考力等の学びを確認しながら、個に応じた学習を進めています。ここから6年生は卒業式を1ヶ月後に控えて、共に過ごした仲間との別れを惜しみつつも、成長への感謝と未来への希望が入り交った日々を過ごします。また、5年生は長等小学校のリーダーの役割を受け継ぎ、最高学年として自らのすべきことを自覚していく時間となります。毎年足早に過ぎていくこの季節は、子どもたちの成長を間近に感じます。

さて、先日シニアクラブの皆さんを学校にお招きして、1年生の子どもたちと「昔あそび」をしていただきました。ここ数年は、インフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖で2回中止し、昨年は1クラスが閉鎖中でしたが、3クラスで実施しました。今年は近年初めて全てのクラス揃っての「昔あそび」でした。お手玉やメンコ、コマ回し、草笛づくり、坊主めくりなど、体育館に子どもたちの楽しそうな声が響き、私も一緒に過ごさせていただきました。



その後、暫く1年生の子どもたちはコマ回し等に夢中で取り組んでいました。休み時間に教室の前を通ると一生懸命にコマに紐を巻いていましたが、なかなか上手く出来ず、コマから紐が崩れてはやり直していました。少したって、そろそろあきらめたかな？と思って覗いてみると、ずいぶん巻き方が上手になっていて、今度はコマを投げて回す技に一生懸命に取り組んでいました。きっとシニアクラブの皆さんが巧みに紐を操り、コマを回している姿が目には焼き付いていたのでしょう。失敗しても、何度でも繰り返し投げていました。そのうちに、一人の女の子が偶発的に成功しました。本人はびっくりしたようですが、とても嬉しそうです。でも、この段階ではなぜ成功したのか分かっていません。もう一回やってみましたが失敗。あきらめないでもう一回やってみると成功。どうやらコマを投げた瞬間に紐を手前に引くというコマ回しのコツを会得し始めたようです。成功して嬉しい顔と、なぜできたのかを考える顔が交互に出てくる様子を楽しく見守っている間に、残念ながら休み時間が終わってしまいました。さて、あれからあの子は「コツ」に気づいて、それを自分の言葉にして説明できるようになったのでしょうか。楽しみです。

子ども達は日々成長します。なぜ？という疑問が学びの入り口ですが、出来るまで小さな努力を積み重ねることを覚えてほしいと思います。一人一人が出来た喜びを体一杯で表してくれる学校でありたいと思います。本年度も残り僅かとなりました。ご支援、ご協力をお願いいたします。 (文責 校長)

< 第3回学校運営協議会報告 >

1. 日時:2月8日(金)
2. 場所:長等小学校図書室
3. 参加:運営協議会委員 8名
アドバイザー:長等支所 長等幼稚園 みつばちこども園 長等児童クラブ
4. 協議題:「地域の力を学校教育に生かすことについて」
5. 主な協議内容

学校からは、既に実施している図書ボランティアや今年度予定している保幼小連携の学校ボランティア計画について説明。参加された委員さんの協議では、地域の力を生かすための、人材バンクづくりや情報共有について協議されました。また、子どもたちの個別の学習や生活を支援する学校支援員の必要性を確認し、運営協議会として市教委に意見すること等が決まりました。

教育相談より



2月は、今年度3回目の教育相談月間になります。全ての子どもと担任が一对一で話をする機会を持ちます。希望する子どもには、担任以外の教員やカウンセラーとの面談も実施します。

進学や進級を控え、1年のまとめの時期にあたるこの時期の子ども一人ひとりの悩みや問題等を把握して、その解決に向け、実態に応じた支援や指導を行っていきたいと思います。ご家庭でも、面談に向け、お気づきのことなどがありましたら、お知らせください。

スクールカウンセラー派遣のお知らせ(教育相談の日)

2月25日(月)

3月11日(月)

3月18日(月)

※面談を希望される方は、担任または担当の藤橋までお知らせください。

生徒指導より



2月の生活目標 はきものをそろえよう 協力して活動しよう

2月の生活目標に「はきものをそろえる」があります。昇降口でくつを揃えることで気持ちを整えたり、次に使う人のことを考えてトイレのスリッパを整えたりします。今月はそれに加え、上ぐつで歩く場所と下ぐつで歩く場所をしっかりと区別することに取り組みます。くつ箱の前には、「みざら」という板があります。下ぐつについた砂などが校舎内に入らないようにするため、「みざら」の上は上ぐつで歩きます。しかし、残念ながらあまり区別がついていないようです。



冬の湿った運動場からは、たくさんの土が昇降口に持ち込まれます。毎日、たくさんの子もたちが元気に外で遊んでいることが、休み時間の後の昇降口からもわかります。また、清掃活動では、「ながらっこ掃除の約束」が定着してきており、最後までがんばる子どもが増えてきました。しかし、担当の5年生が掃除をがんばっても、昇降口のまわりは、なかなかきれいになりません。

2月は、昇降口のくつ箱のまわりで、本校が大切にしている「はきものをそろえること」と「しっかりそうじをすること」の両方がんばる姿がたくさん見られるようにしたいです。

※裏面に昨年保護者の皆さんにご協力いただいた教育活動アンケートの結果を掲載しています。

<平成30年度「長等小学校の教育活動に関するアンケート」の結果について>

2学期末にご協力いただきましたアンケートは、537名(84%)の保護者の皆様からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。そのアンケート結果について、ご報告させていただきます。

<集計結果より>

全ての項目で、81%以上の方が、ア(そう思う)とイ(どちらかといえばそう思う)に回答いただきました。結果は以下の通りです。

○肯定的評価が90%を超える評価項目

- ・学校では、学習および様々な活動を通して、思いやりの気持ちや社会のルールを守る気持ちなどを育てている。
- ・学校は、気軽に子どもや保護者の相談に応じてくれる。
- ・学校は、児童や家庭のプライバシー保護に努めている。
- ・学校は、子どもに安全指導を行っている。

○肯定的評価が90%に近い評価項目

- ・学校では、子どもの発達段階に応じて命の大切や相手を思いやる心を育てている。
- ・学校は、地域や保護者に開かれている。
- ・保護者として、授業参観などの行事によく参加している。
- ・保護者として、学校からの配布物にしっかり目を通してしている。

○肯定的評価が80%近くはあるが、否定的評価が20%近くある評価項目

- ・子どもは、授業が楽しいと言っている。
- ・子どもは、学校のいろいろなことをよく話す。
- ・子どもは、家庭学習にきちんと取り組んでいる。
- ・子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣ができている。

考察（一部抜粋）

長等小学校の教育活動については、保護者の皆様には概ね良い評価をいただいております。またご家庭から見ても子どもたちも楽しく登校していることがわかり、大変うれしく思っておりますが、さらによりよい状況に高めていけるよう話し合いをして、次年度に向けての改善点の共通理解を行いました。その一部をお知らせいたします。

- ・昨年度に引き続き、学校が親身に子どもや保護者の相談に応じてくれると回答している保護者が多いという結果になった。そのため、今後も、担任を窓口とした生活・学習相談や各担当を窓口とした教育相談・生徒指導相談などの相談体制を充実していきたい。
- ・昨年度に引き続き、学校が、子どもたちに社会のルールや安全指導を進めていると回答している保護者が多いという結果になった。そのため、今後も、継続して地域ボランティアやスクールガードとの連携を大切にして、安全・安心な学校づくりに努めていきたい。
- ・昨年度に引き続き、子どもが、授業が楽しそうであると回答している保護者が少ないという結果になった。このことから、子どもがさらに主体的に学習できるように、学習内容に興味を持てたり、学習内容が理解できたりするような教材・教具の開発を行ったり、子どもの考えが生きるような授業の工夫をしたりして、授業改善を進めていきたい。また、保護者や地域の方に、学習の様子をホームページや通信で積極的に発信していきたい。

また、アンケート項目によりましては、オ（わからない）という回答が10%近くになるものもありましたので、学校だよりやホームページを通して、学校での取り組みやその成果が保護者の皆様によりわかりやすくなるように取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともご協力よろしく申し上げます。